

## 第2回日越土木技術セミナー開催報告

2014年3月12日ベトナム、ハノイの国家建設大学において、日越土木技術者協力促進センターおよび土木学会の主催で第2回日越土木技術セミナーを開催しました。ベトナムの建設省、運輸省や企業の専門家、大学教授、大学院生など多くの参加者を集めました。以下に概要を報告いたします。

セミナーは Cuong 国家建設大学副学長の開会挨拶に始まり、①日本の ITS 技術：塚田幸広氏（国土技術政策総合研究所）、②日本の舗装技術：藤田仁氏（(一社)道路建設協会、日本道路(株)）、③ベトナムの高速道路の現状と計画：Tuan 氏（DRVN、高速道路管理事務所所長）、④ベトナムの交通の現状と対策：Hiep 准教授（国家建設大学計画・交通研究所）4つの講演が行われました。そして質疑がなされた後、Giang 日越土木技術者協力促進センター長の閉会挨拶がなされて閉会しました。



熱心に聞き入るセミナー参加者

日越土木技術セミナーは今回で2回目となりましたが、講演中及び質疑時間において学生の真剣かつ積極的な姿勢を感じました。また、講演内容が基本的な内容でしたので、参加者の我が国における ITS、舗装技術に対する理解が高まったものと確信しました。



円卓会議における舗装技術セッション

セミナー開催後、日本とベトナムの専門家による「軟弱地盤対策と舗装技術に関する専門家円卓会議」を開催しました。日本からは塚田幸広氏（軟弱地盤）、藤田仁氏（舗装技術）、田中良寛氏の3名、ベトナム側は Dr. Giang (NUCE、推進センター長)、Dr. Thanh (建設大臣秘書・品質管理局副局長)、Dr. Thanh (Vidifi 社の技術担当)、Dr. Phung (NUCE 道路技術科の学科長) 他十数名が参加しました。

軟弱地盤対策については、FECON 社の専門家からベトナムにおけるプラント等の軟弱地盤対策事例（バーチカルドレーン（サンドドレーン、ペーパードレーン及び深層混合処理工法の事例））の紹介がなされ、論議しました。また、舗装技術については、ベトナムの舗装の早期破壊事例について紹介があり、この報告に基づき早期破壊の原因と対策について論議しました。

円卓会議では、軟弱地盤対策、舗装技術ともにベトナム側の関心が高いテーマであり、大学、関係省庁、民間の専門家による会議であったことから、各々具体的な事象に基づき、非常に熱心な議論が繰り広げられました。このような少人数の専門家同士の情報交換は、今後とも定期的に開催することが有意義です。



円卓会議の参加者  
日越土木技術者協力促進センター図書室前